



# 志・和・創

～「頑張り」と「優しさ」の発揮～



厚東川中だより第4号  
宇部市立厚東川中学校  
令和5年5月23日発行

## 生徒が自分たちの幸せのために発言できるように こども家庭庁発足

令和5年4月1日、子ども政策の司令塔になる「こども家庭庁」が発足されました。同時に子どもの権利を包括的に守る「こども基本法」も公布されました。

少子化が進み子どもの総数が減少している日本ですが、児童虐待通報は急増し、いじめ、自殺、不登校の深刻化、ヤングケアラーの増加など、子どもが生きづらい世の中になっています。これまで日本には、子どもに関わるあらゆる場面で子どもの権利が守られるべきと、定める基本の法律がありませんでした。「こども基本法」は、子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた「子どもの権利条約」の、もっとも大切な4つの一般原則と、日本国憲法に基づいてつくられました。子どもが個人として尊重され、基本的人権が保障されるというルールを、日本の国・地方・大人たちが、子ども・若者とともに実現していくための大切な法律です。

校則の見直しアンケートを前に、5月の生徒集会で、次のように話しました。

子ども家庭庁とは、「すべての子どもが、自立した個人として、平等に、健やかで、幸せな状態（Well-being）で成長することができる社会の実現をめざし、子どもや子育て当事者の視点に立った政策立案や、さまざまな課題への支援を行う国の行政機関」です。こども家庭庁のスローガンは「**こどもまんなか**」です。これまでの大人中心の社会から、こどもがまんなかの社会を実現するために、こどもの視点に立ってこどもや若者の意見を聴き、反映するそうです。こども家庭庁が創設されるのと同時に、こども基本法が施行されました。すべてのこどもや若者が将来にわたって幸せな生活ができる社会を実現するため、つくられた法案です。

このような世の中の動きもあって、**みなさんには自分たちの幸せのために「こうあってほしい」ということは、言葉にできるようになってほしい**と思っています。昨年紹介した「国際子ども平和賞」を日本人で初めて受賞した大阪の高校生 川崎レナさんは、「子どもが子どものために運営する団体」の必要性を感じて、環境問題や人権問題などに取り組む国際NGO「アース・ガーデンズ」の日本支部を立ち上げました。「政治家と話してみようの会」なども始めて、大阪府議や地元の市議と交流会をしています。

川崎さんは大人との対話を、「違う価値観だからこそ、できることがあると思っています。いろんな世代が、お互いに意見を言う。違いを強調して溝を深めるより、共通点を見つけて建設的な議論ができればいい。」と話しています。

みなさんも「自分たちの幸せのために」互いに意見を言い合える厚東川中学校生をめざしましょう。

条約に定められている権利には、大きく分けると以下のようなものがあります。



生きる権利

住む場所や食べ物があり、医療を受けられるなどして、命が守られる



育つ権利

勉強したり遊んだりして、もって生まれた能力を十分に伸ばしながら成長できる



守られる権利

紛争に巻きこまれず、難民になったら保護され、暴力や搾取、有害な労働などから守られる



参加する権利

自由に意見を表したり、団体を作ったりできる

(子ども基本法Webサイトからの引用)

「こども家庭庁」「こども基本法」が必要な背景・理由を、教職員・家庭・地域の大人が理解し、「子どもの最善の利益」について、「きづく」「つながる」「ささえあう」を共有していきたいです。

## 第2回生徒集会 生徒発信で地域との連携を

5月8日(月)第2回目の生徒集会を行いました。

今年、年度初めから各委員会のプロジェクト(生徒会つながりプロジェクト)など、生徒会役員が積極的に活動をしています。厚東川中学校をよりよくしていこうと、先頭に立って行動していて頼もしいです。

総務委員会からは「あいさつ大使プロジェクト」として「あいさつナンバーワン選手権」の企画、また、生活委員会からは「あいさつと清掃を組み合わせたプロジェクト」として「厚東通学路清掃ボランティア(厚東おやじの会コラボ)」と「交通安全強調月間」の企画の提案がありました。

### 総務委員会

#### 「あいさつNO1選手権」企画

★返事が返ってくるあいさつを心がけるよう呼び掛け、投票を行います

### 生活委員会

#### 「厚東通学路清掃ボランティア(厚東おやじの会コラボ)」企画

★厚東地区以外の生徒も参加します。

#### 「交通安全強調月間」企画

★学校下の横断歩道前で、火・水・木曜日にあいさつ運動をしています。



今後も、各委員会からのプロジェクトが提案される予定です。

## 第2回全校スピーチ

テーマ「わたしの趣味」

1年生では林望々花さんが「アニメを見るのが趣味。読み進めるときのドキドキ、わくわく感」を、吉村 隼さんが「洋楽の鑑賞と、大きなスクリーン・大音響で楽しめる映画鑑賞の魅力」を、聞いている人に分かりやすく紹介しました。2年生では豊富な読書量を誇る中田一咲さんが読書の魅力を紹介した後で、即興でGWに参加した日韓交流の体験について「最初は乗り気ではなかったが、新たな友達ができてよい体験だった。」と語りました。3年生では金子恵瑠さんが「趣味は読書で、いろいろな視点から考えられたり、時には人生に役立つこともあるミステリーが好きだ。」と語りました。



## ◆教育支援の先生方を紹介します！

今年度、厚東川中学校で、授業での生徒のみなさんのサポートとして3名の先生方が着任しています。よろしくお願いします。

教育支援(校内ふれあい)

教育支援(校内ふれあい)

教育支援

先生

先生

先生



月・火・水 来校



木・金 来校



火・金 来校